

第31回 豊川市地域公共交通会議 資料

<目 次>

1. 【報告事項（１）】平成28年11月までの豊川市コミュニティバスの運行実績
及び路線・運賃体系変更前後の利用者動向の変化について
2. 【報告事項（２）】OD調査結果について
3. 【報告事項（３）】利用促進イベントの取り組み結果について
4. 【報告事項（４）】地域協議会意見交換会・勉強会について
5. 【協議事項（１）】バス停位置の変更について
6. 【協議事項（２）】地域公共交通確保維持改善事業の評価について

平成28年12月26日

1－3．路線・運賃体系変更前後の利用者動向の変化

豊川市コミュニティバスの利用者数は、平成28年度は平成27年度に比べて、利用者数が少ない傾向が続いていますので、平成28年度と平成27年度では利用の傾向が変わっていることが考えられます。

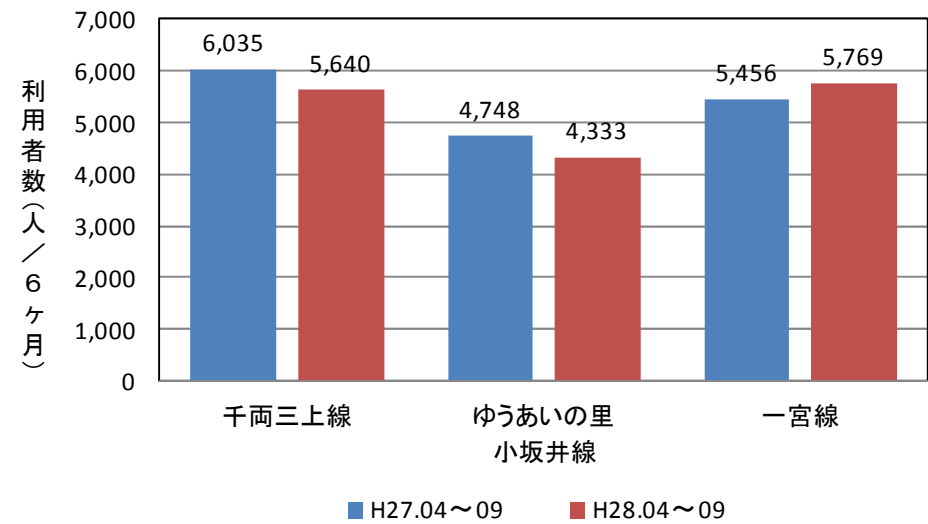
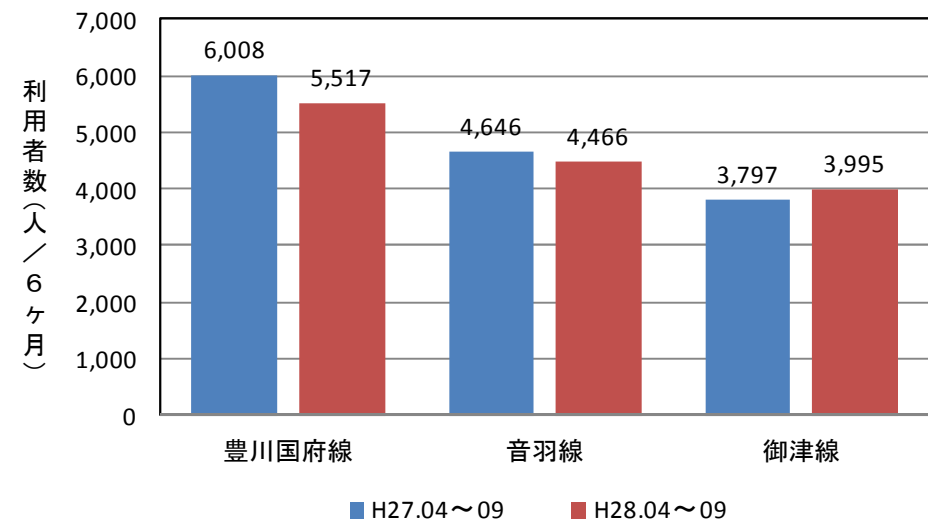
そこで、路線・運賃体系変更前後の比較では、変更前の平成27年4～9月と平成28年4～9月の同期間の利用実績と、平成28年4～9月と平成28年10～11月の利用実績を比べました。

(1) 路線別の利用者数の変化

① 平成27年4～9月と平成28年4～9月の比較（変更前の同期間同士の比較：6ヶ月合計）

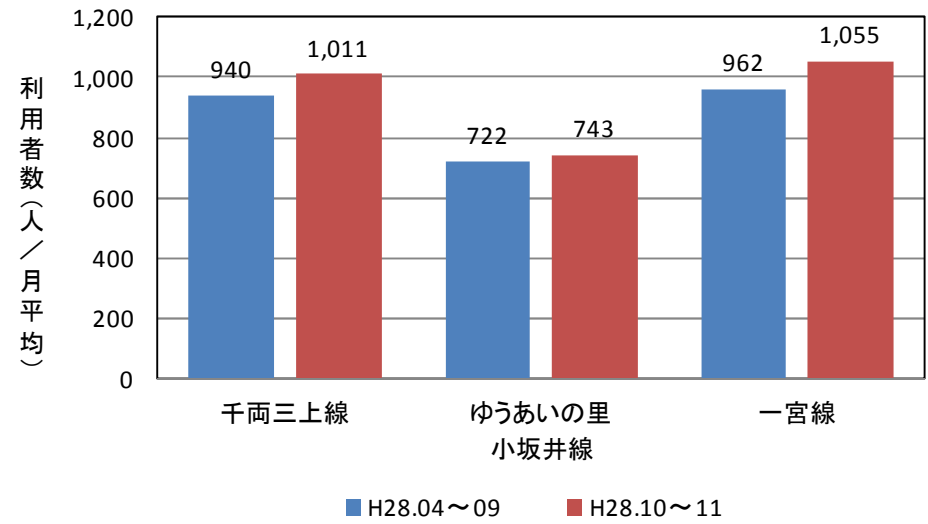
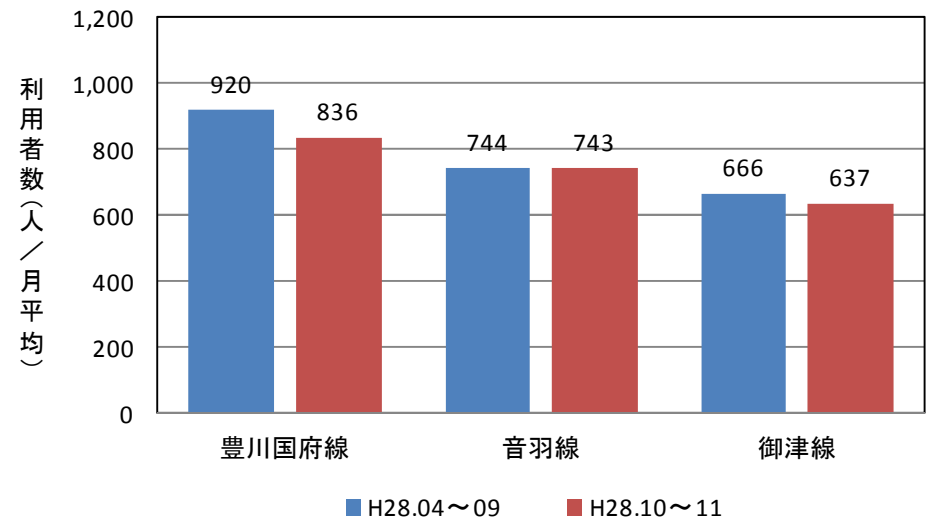
基幹路線6路線のうち、利用者の減少度合いが大きい路線は豊川国府線、千両三上線、ゆうあいの里小坂井線となっています。

減少度合いの大きい路線については、以降の3～5頁でバス停ごとの利用者数を示し、利用者動向の変化を整理しています。



② 平成28年4～9月と平成28年10～11月の比較（変更前後の同年度の比較：1ヶ月平均）

基幹路線6路線のうち、利用者の減少度合いが大きい路線は豊川国府線となっています。
路線体系を大きく変えた豊川国府線、音羽線、御津線については、以降の6～8頁で便ごとや区間ごとの利用者数を示し、利用者動向の変化を整理しています。

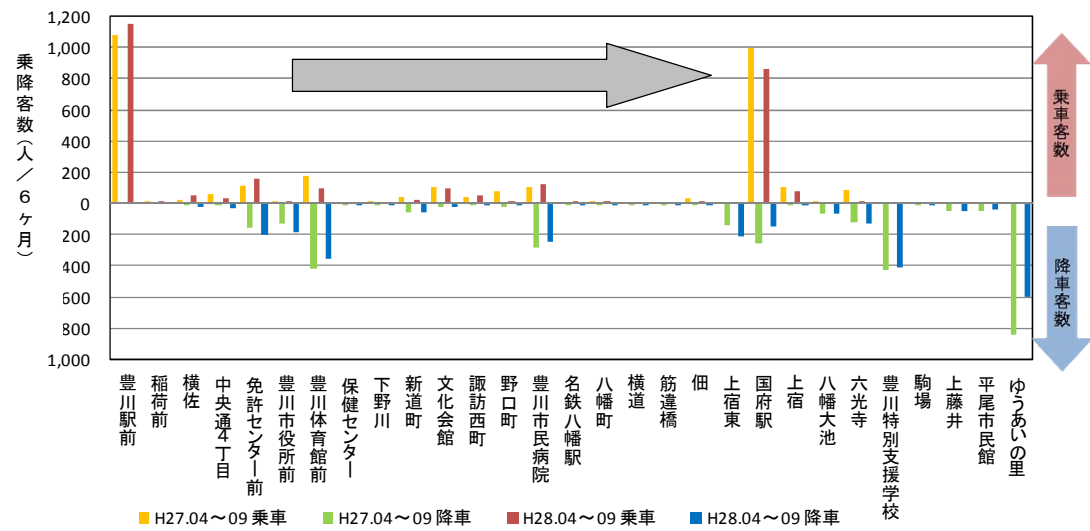


(2) 平成27年4～9月と平成28年4～9月の路線ごとの比較

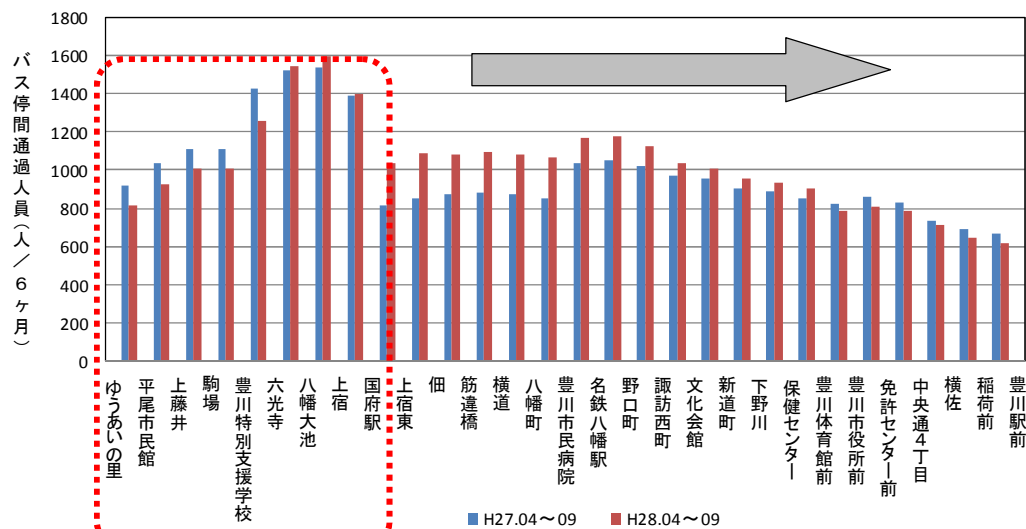
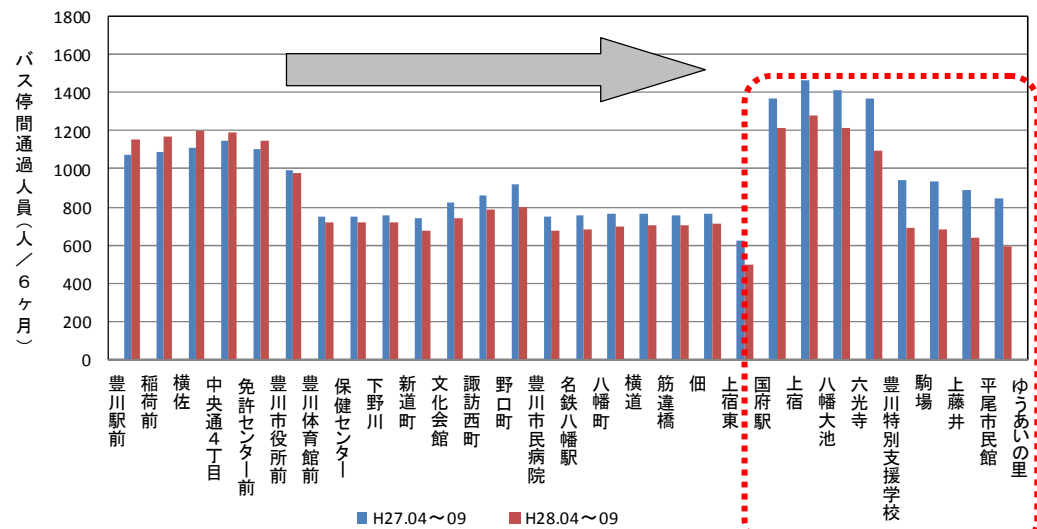
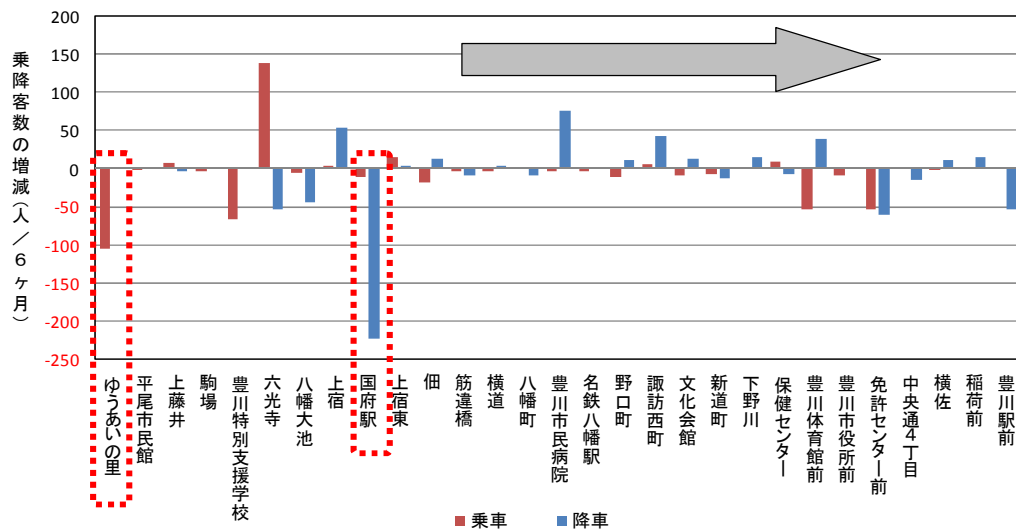
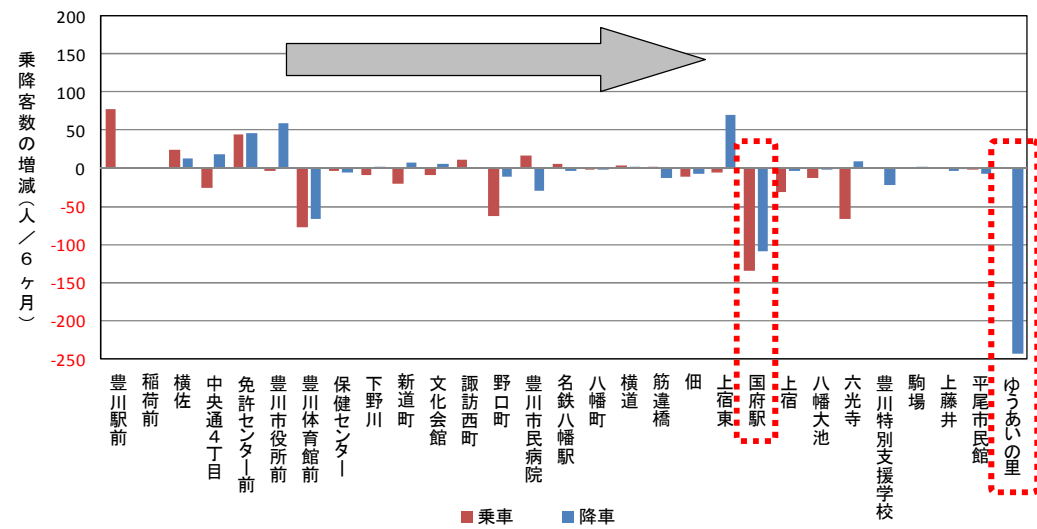
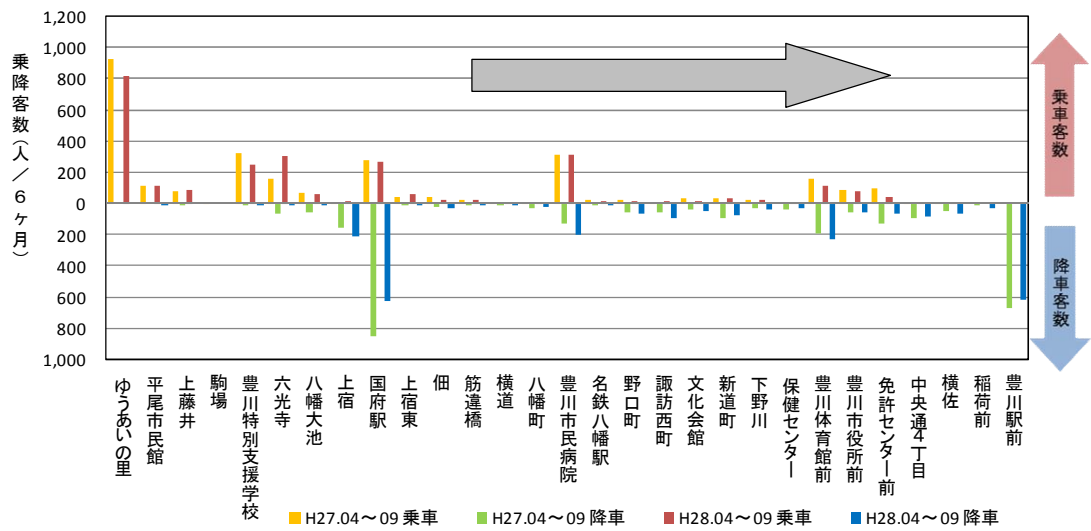
① 豊川国府線

特に減少が目立つバス停は、ゆうあいの里バス停と国府駅バス停となっており、バス停間通過人員はゆうあいの里～国府駅間で減少が目立つことから、ゆうあいの里の来訪者が減少した影響と考えられます。

ゆうあいの里方面行き



豊川駅前方面行き

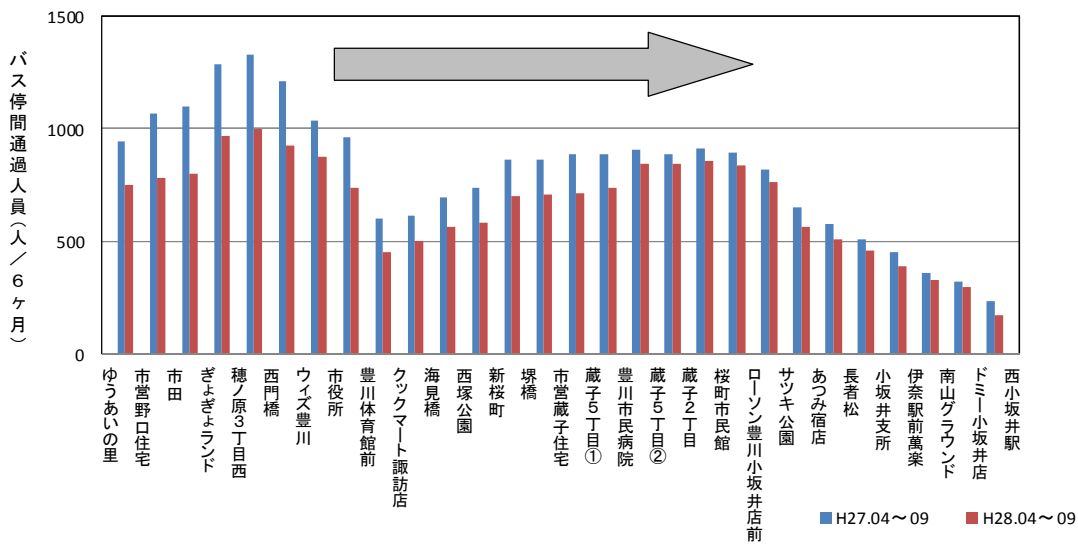
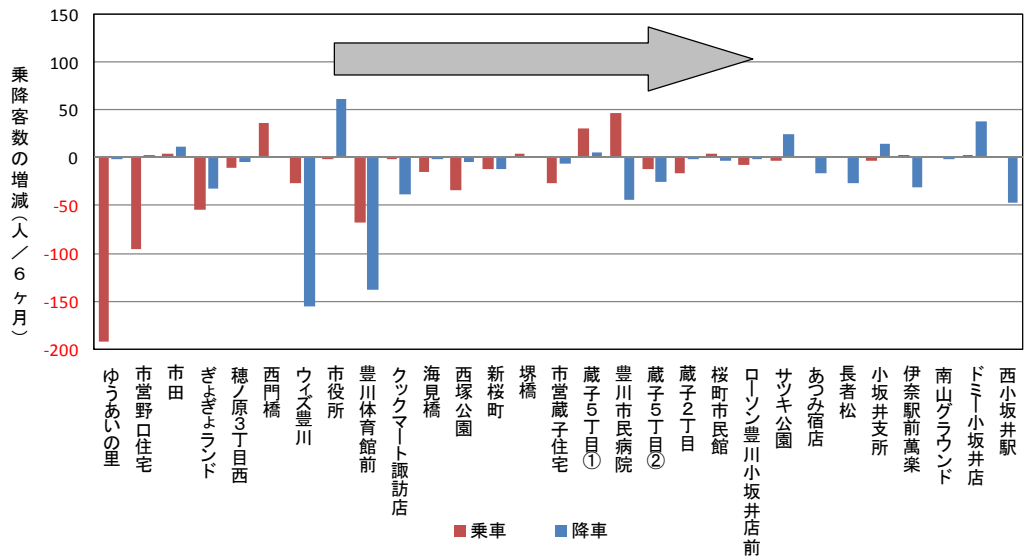
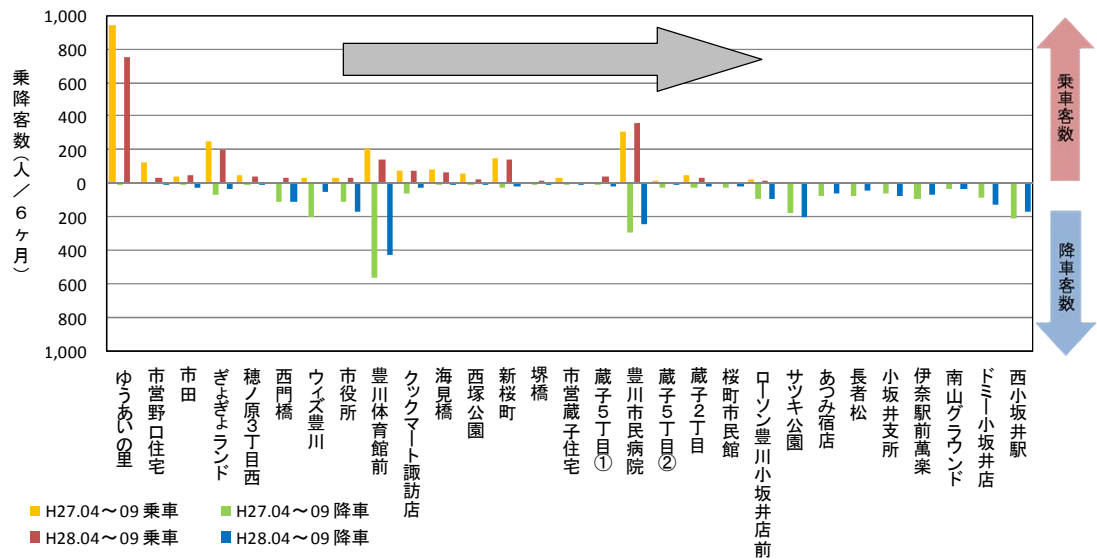


② ゆうあいの里小坂井線

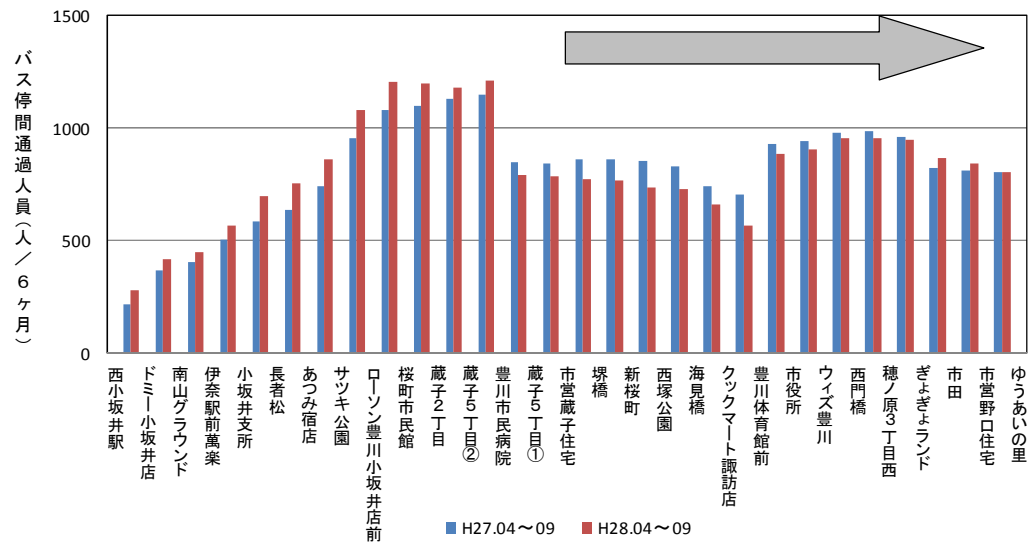
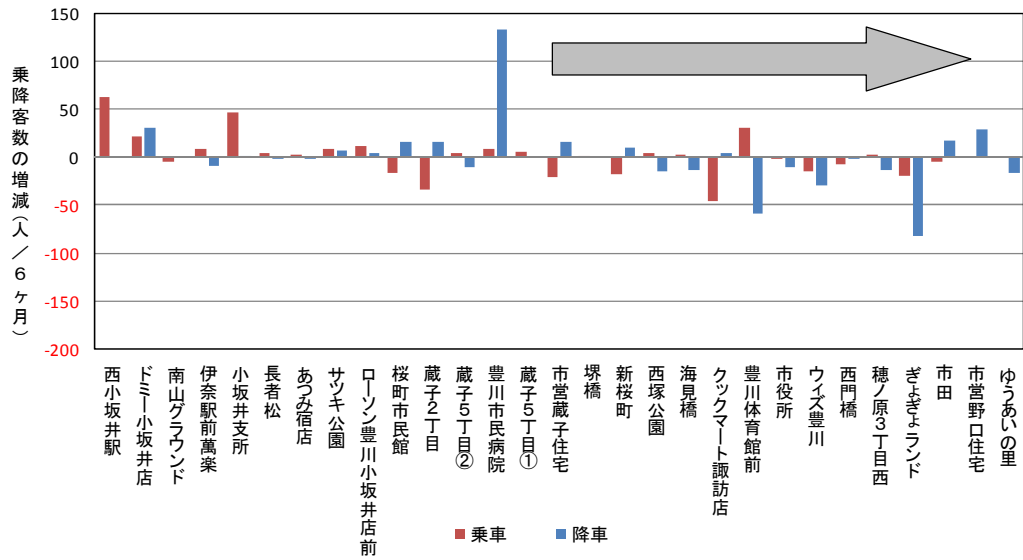
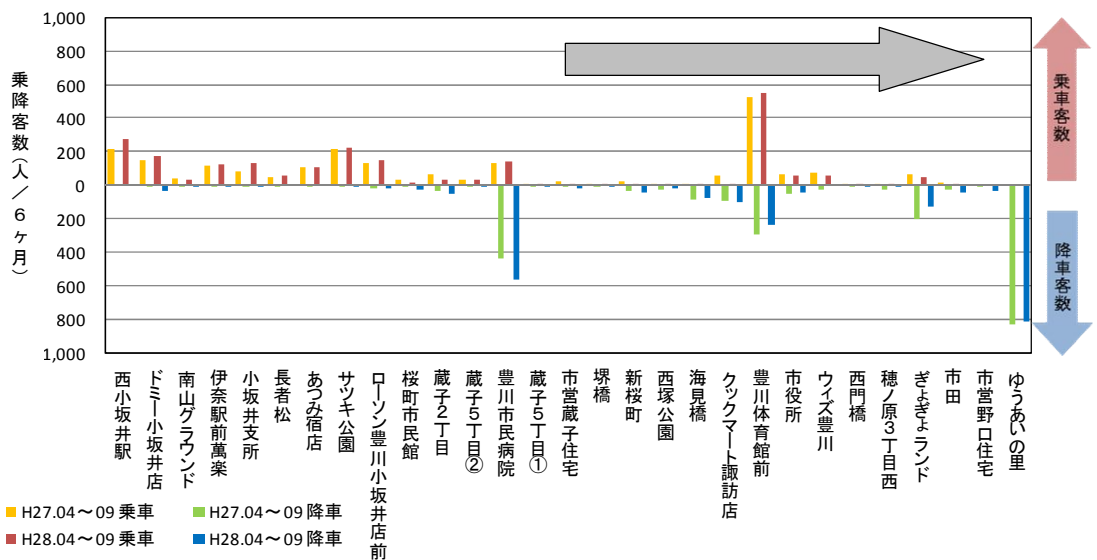
特に減少が目立つバス停は、西小坂井駅方面行きのゆうあいの里バス停と市営野口住宅バス停となっており、降車側ではウィズ豊川バス停と豊川体育館前バス停の減少が目立っています。

バス停間通過人員はゆうあいの里～豊川市民病院間で減少が目立つことから、ゆうあいの里や市営野口住宅からウィズ豊川、豊川体育館前、豊川市民病院への来訪者が減少した影響と考えられます。

西小坂井駅方面行き



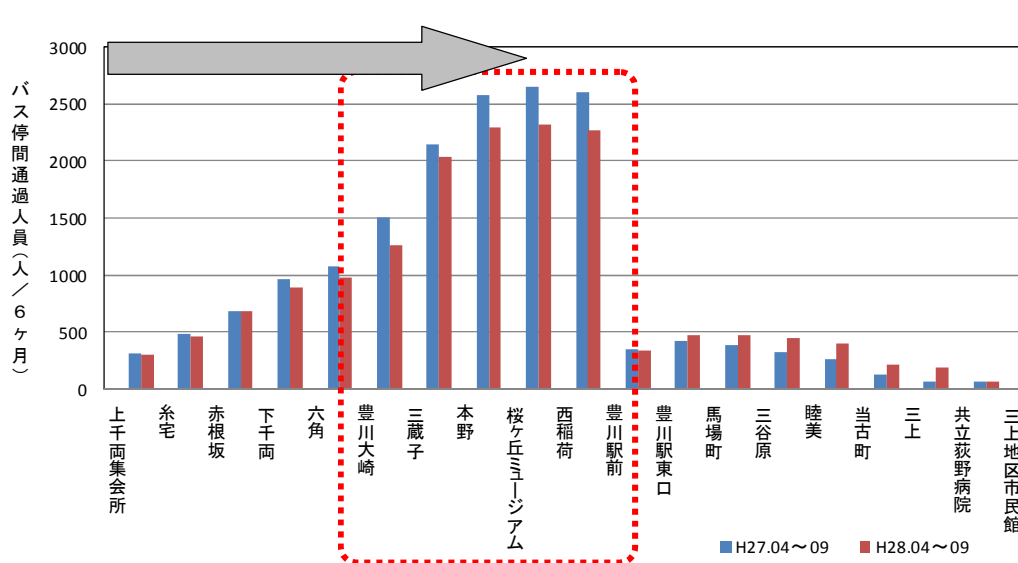
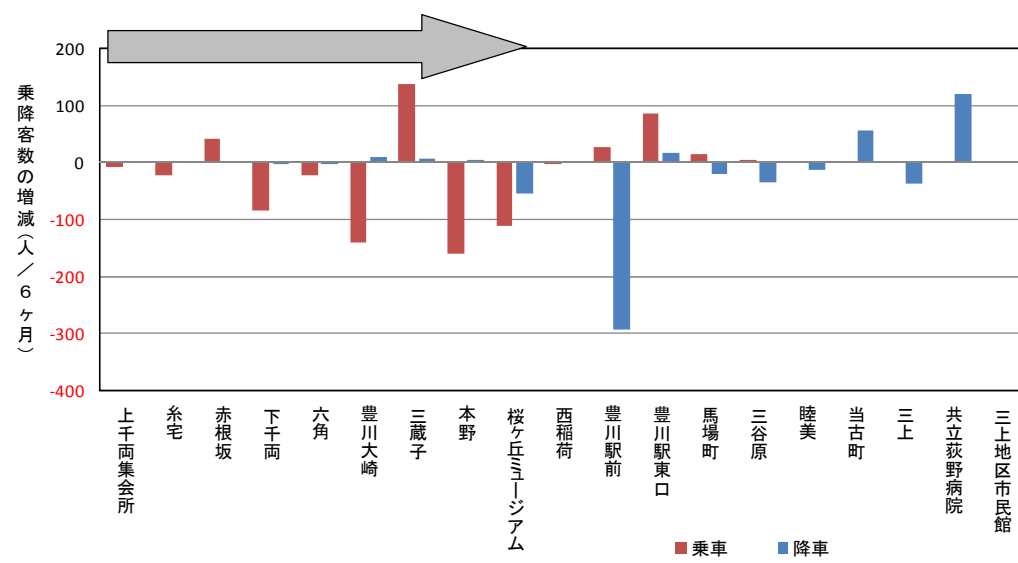
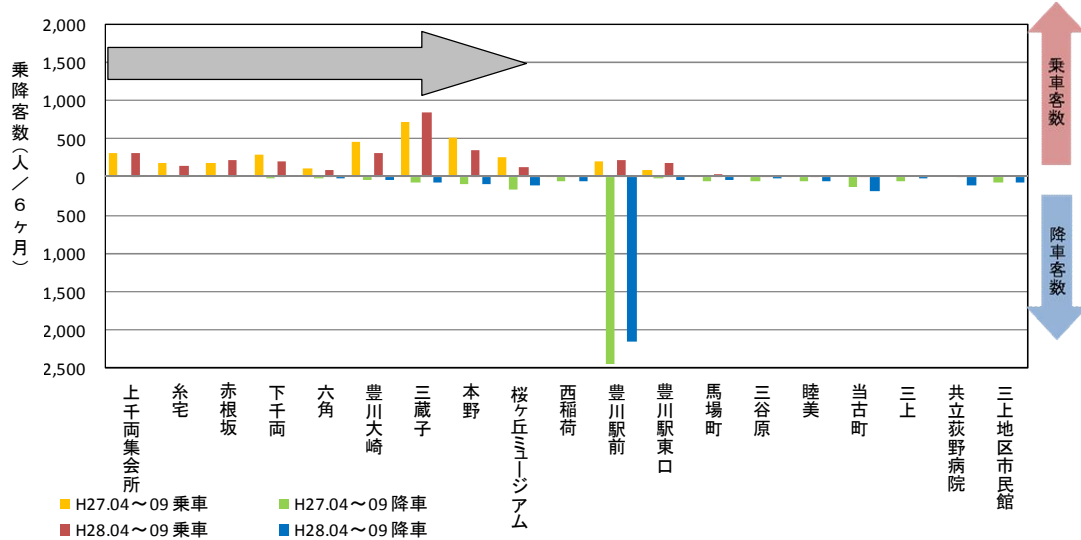
ゆうあいの里行き



③ 千両三上線

特に減少が目立つバス停は、千両地区側の豊川大崎バス停、本野バス停、桜ヶ丘ミュージアムバス停、豊川駅前バス停となっており、バス停間通過人員は豊川大崎・本野・桜ヶ丘ミュージアムバス停と豊川駅前バス停間で減少が目立つことから、千両地区の各バス停から豊川駅前への来訪者が減少した影響と考えられます。

三上地区市民館方面行き



上千両集会所方面行き

